

発行日：2016年3月31日



環境活動レポート 2015年度

対象期間：2015年3月1日～2016年2月29日



共和産業株式会社

Kyowa Sangyo Corp.

目 次

I . 会社概要	P 1
1. 事業所名及び代表者名	
2. 事業所内容	
3. 事業規模	
4. 対象範囲	
II . 環境方針	P 2
III . 環境経営体制と役割	P 3
1. 体制	
2. 役割・責任	
IV . 環境負荷物質の過去の実績	P 4
1. 2014年度 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量	
2. 二酸化炭素排出量詳細	
3. 廃棄物排出量詳細	
V . 2015年度 環境目標	
1. 全社 環境目標	P 5
2. 本社・豊田工場 "	P 5
3. 足助工場 "	P 5
4. 篠原工場 "	P 5
VI . 2015年度 環境活動計画	
1. 全社 活動計画	P 6
2. 本社・豊田工場 "	P 6
3. 足助工場 "	P 6
4. 篠原工場 "	P 6
VII . 2015年度 環境活動実績と評価	
1. 全社 環境活動実績と評価	P 7
2. 本社・豊田工場 "	P 8
3. 足助工場 "	P 9
4. 篠原工場 "	P10
5. その他 "	P11
VIII . 環境関連法規等の遵守状況	P12
IX . 2015年度 環境活動まとめ	P13
X . 代表者による全体評価と見直し	P14

I. 会社概要

1. 事業所名及び代表者名

・会社名 共和産業株式会社
・代表者 代表取締役社長 森下 勇夫
環境管理責任者 廣瀬 誠

・所在地 本社・豊田工場
〒471-0856 愛知県豊田市衣ヶ原3-1
TEL 0565-32-4651 FAX 0565-32-4773
(敷地面積 9,922㎡)



足助工場
〒444-2407 愛知県豊田市桑田和町宮の前34
TEL 0565-62-0185 FAX 0565-62-1185
(敷地面積 6,330㎡)



篠原工場
〒470-0352 愛知県豊田市篠原町切山2-24
TEL 0565-48-7600 FAX 0565-48-7601
(敷地面積 324㎡)



2. 事業内容

・自動車用サンバイザーの設計・開発・製造、及び自動車用樹脂部品(遮音樹脂部品・補強部品)の設計・開発・製造

サンバイザー



KCF



3. 事業規模

・資本金 4,000万円
・従業員数 544名
・生産数 サンバイザー:774万枚/年 KCF:1,987万個/年
(KCF:遮音樹脂部品・補強部品)

4. 対象範囲(認証・登録範囲)

- ①対象組織 : 全事業所(本社・豊田工場、足助工場、篠原工場)
- ②対象範囲 : 事業内容と同じ
- ③レポートの対象期間 : 2015年3月1日～2016年2月29日
- ④レポート発行日 : 2016年3月31日

II. 環境方針

「第71期 環境・安全・健康方針」に基づき、環境保全活動に取り組んでいます。

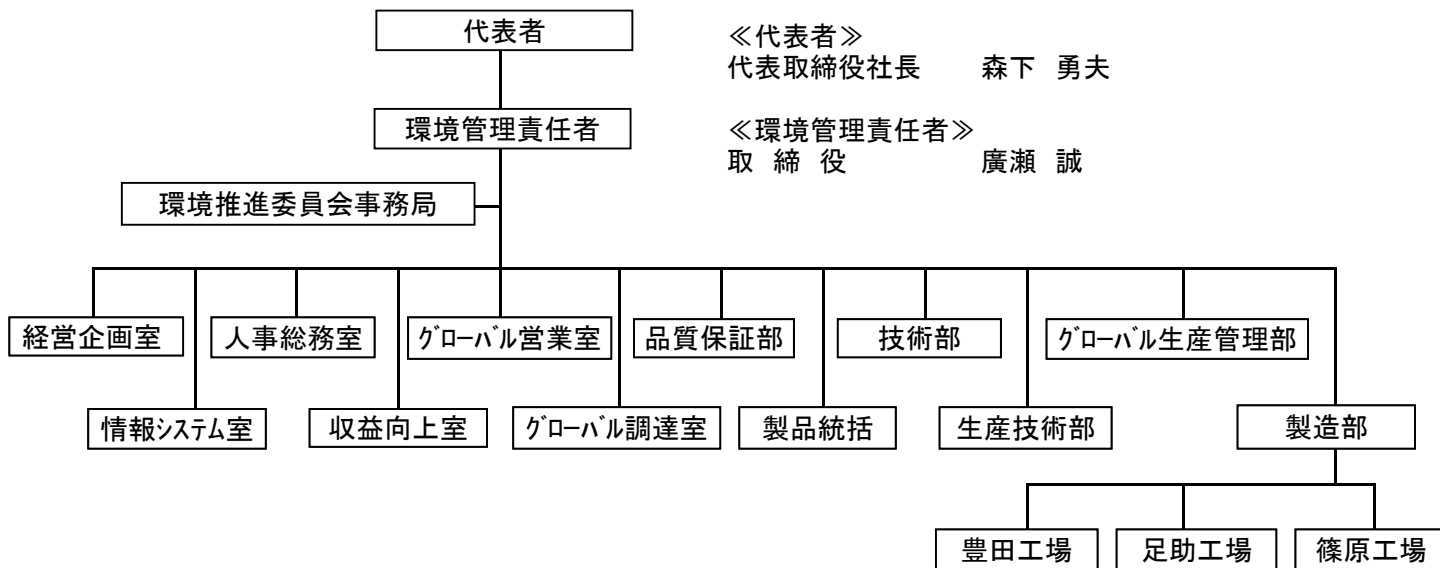
スローガン		全員参加で安全職場の実現と健康増進			
No.	方針・実施事項	担当役員	主管部署	関連部署	
I 循環型社会の実現と環境保全	持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組み ー低炭素社会、循環型社会、自然との共生社会づくりの推進ー	内田MD 廣瀬D	技術 人総	全部署 全部署	
	1. 省エネ・省資源・廃棄物削減等、ライフサイクル全体での環境負荷低減を織り込んだ技術開発・生産の推進 (1) ライフサイクル環境負荷の小さな商品の開発 (2) リデュース(低減)、リユース(再使用)、リサイクル(再生)の推進 (3) E-JITの推進「必要な時に必要な量だけ必要なエネルギーを使う。」 *E-JIT: Energy Just In Time (4) 不良低減 *1 *2 (5) 化学物質使用量削減(SOC、VOCの削減) *1 SOC: 環境負荷物質(substances of concern) *2 VOC: 揮発性有機化合物(volatil organic compounds) (6) 二酸化炭素排出量削減 (7) 廃棄物排出量削減 (8) 総排水量削減 (9) グリーン調達	↑ 内田MD	↑ 技術	↑ 全部署	
	2. 環境経営システムの継続的改善 (1) 環境関連法規制、愛知県条例、豊田市条例の遵守 (2) 各部の取組方針・目標作成とPDCAサイクルを回す。	内田MD 廣瀬D	技術 人総	全部署 全部署	
	3. 会社内(全工場、全職場)及び工場周辺を含む 地域社会環境美化・環境保全活動の推進	山原D 廣瀬D	調達 人総	全部署 全部署	
	「安全・健康はすべての土台、安全・健康文化、風土の構築」	岡村MD	人総	全部署	
	1. 年間を通じた安全活動の推進 (1) 安全活動の仕組みづくりと人づくり (2) 全員参加で労災0、通災0の実現 (3) 労使一体となった安全活動の推進 (4) リスクアセスメントの推進	岡村MD ↑ ↑ ↑ ↑	製造 ↑ ↑ ↑ ↑	全部署 ↑ ↑ ↑ ↑	
	2. 年間を通じた健康づくりの推進 (1) 生活習慣病*の未然防止活動の推進(目標: BMI25未満) *生活習慣病: 食事、運動、喫煙、飲酒、休養などの生活習慣が深く関与して発症する疾患の総称 (2) 心の健康づくり(メンタルヘルス) (3) 各人が年間を通じた健康増進活動で1ランク健康度UP (4) 計画的有給休暇の取得推進(Min年1回、2日連続有休取得)	廣瀬D 廣瀬D 廣瀬D 廣瀬D	人総 人総 人総 人総	全部署 全部署 全部署 全部署	

社長

作成 2015年3月1日
共和産業株式会社

Ⅲ. 環境経営体制と役割

1. 体制



2. 役割・責任

役割	責任
代表者	(1)取り組み対象組織の決定、環境方針の策定、環境管理責任者の任命、資源(人員・設備・費用等)の準備、代表者による全体評価と見直し
環境管理責任者	(1)取り組み対象組織の明確化(提案)、代表者に代わり、環境経営システムを構築・運用・維持し、その状況(環境目標の達成状況・環境活動計画の実施状況及び運用結果・環境関連法規の遵守状況・外部からの環境に関する苦情や要望)を代表者へ報告
	(2)環境への負荷の自己チェック、環境への取り組みの自己チェックの実施
	(3)環境関連法規の取りまとめ/遵守評価の実施、環境目標・環境活動計画の作成
	(4)実施体制の構築、教育訓練の実施、外部からの苦情等の受付対応・記録
	(5)手順書の作成、緊急事態の想定/訓練の実施、問題点の是正・予防処置と記録
	(6)環境活動レポートの作成
事務局	(1)環境関連文書及び記録の素案作成・文書記録一覧表管理

各部署	責任者	(1)自部門の取り組みに関し、環境管理責任者に準じた責任を持つ
	担当者	(1)取り組み実施、実施状況の確認・記録
	全社員	(1)環境方針・環境目標・環境活動計画を理解し取り組む

IV. 環境負荷物質の過去の実績(2014年度)

1. 2014年度 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量

	対象品目	年間排出量	
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	電力、灯油、ガソリン JPG	1,878,608	
廃棄物排出量 (kg)	一般廃棄物	リサイクル	99,370
		中間処理	8,424
	産業廃棄物	リサイクル	115,205
		中間処理	169,240
		392,239	

(購入電力の二酸化炭素排出係数: 中部電力平成24年度値0.516kg-CO₂/KWH)

2. 二酸化炭素排出量の詳細

	排出量(kg)	占有率	
購入電力	1,700,674	90.5%	
化石燃料	灯油	98,446	5.2%
	ガソリン	76,839	4.1%
	LPG	2,649	0.1%
合計	1,878,608	100.0%	

<重点課題>

購入電力が9割を占める
⇒ 電気使用量削減が重要

3. 廃棄物排出量の詳細

	排出量(kg)		占有率
	リサイクル	中間処理	
一般	紙類	99,370	25.3%
	一般ごみ	8,424	2.1%
産業廃棄物	廃油	300	0.1%
	サーマル・PE・FAB	127,460	32.5%
	埋立	15,120	3.9%
	混合廃棄物	7,770	2.0%
	ウレタン類	12,510	3.2%
	リサイクル樹脂	82,105	20.9%
	鉄くず・グリス缶	32,400	8.3%
	アルミ	400	0.1%
	真鍮	0	0.0%
木くず	6,380	1.6%	
小計	214,575	177,664	100.0%
合計	392,239		

	排出量(kg)	占有率
ダンボール	90,290	90.9%
紙管	5,500	5.5%
上質紙	1,825	1.8%
ざつ紙	1,755	1.8%
合計	99,370	100.0%

<重点課題>

輸入梱包のダンボールが9割を占める

<重点課題>

FABが大半を占めていると思われるが、現状では詳細不明
解析できる実績データの収集

	排出量(kg)	占有率
PVC	57,120	69.6%
離型紙	7,337	8.9%
PP(シエル本体)	7,177	8.7%
PP(シエル以外)	6,319	7.7%
ABS	3,757	4.6%
POM	395	0.5%
合計	82,105	100.0%

<重点課題>

PVCが7割を占める
リサイクルはしているが低減は必要

V. 環境目標

項目	取り組み項目	単位		全社				本社・豊田工場				足助工場				篠原工場			
				年間の削減目標 (年度は3月～翌年2月)				年間の削減目標 (年度は3月～翌年2月)				年間の削減目標 (年度は3月～翌年2月)				年間の削減目標 (年度は3月～翌年2月)			
				2014年度 基準年度	2015年度 1%減	2016年度 2%減	2017年度 3%減	2014年度 基準年度	2015年度 1%減	2016年度 2%減	2017年度 3%減	2014年度 基準年度	2015年度 1%減	2016年度 2%減	2017年度 3%減	2014年度 基準年度	2015年度 1%減	2016年度 2%減	2017年度 3%減
(1)二酸化炭素 排出量	総量	kg-CO2	1,878,608	1,859,822	1,841,036	1,822,250	1,425,097	1,410,846	1,396,595	1,382,344	214,991	212,841	210,691	208,541	233,560	231,224	228,889	226,553	
		製品1個当り	kg-CO2/個	0.083	0.082	0.082	0.081	0.221	0.219	0.217	0.214	0.127	0.126	0.125	0.124	0.016	0.016	0.016	0.016
	①購入電力使用量	総量	kwh	3,295,880	3,262,921	3,229,962	3,197,004	2,510,880	2,485,771	2,460,662	2,435,554	342,686	339,259	335,832	332,405	442,314	437,891	433,468	429,045
		製品1個当り	kwh/個	0.146	0.145	0.143	0.142	0.389	0.385	0.382	0.378	0.203	0.201	0.199	0.197	0.031	0.030	0.030	0.030
	②灯油使用量	総量	L	39,506	39,111	38,716	38,321	25,766	25,508	25,251	24,993	13,740	13,603	13,465	13,328	0	0	0	0
		製品1個当り	ml/個	1.752	1.734	1.717	1.699	3.995	3.955	3.916	3.876	8.141	8.060	7.978	7.897	0.000	0.000	0.000	0.000
	③ガソリン使用量	総量	L	33,096	32,765	32,435	32,104	30,091	29,791	29,490	29,189	1,634	1,618	1,601	1,585	1,371	1,357	1,343	1,330
		製品1個当り	ml/個	1.468	1.453	1.438	1.424	4.666	4.620	4.573	4.526	0.968	0.959	0.949	0.939	0.095	0.094	0.093	0.092
	④LPG使用量	総量	kg	882	874	865	856	125	123	122	121	44	43	43	43	714	707	700	693
		製品1個当り	g/個	0.039	0.039	0.038	0.038	0.019	0.019	0.019	0.019	0.026	0.026	0.025	0.025	0.050	0.049	0.049	0.048
(2)廃棄物排出量 (中間処理)	①産業廃棄物排出量	総量	t	284	282	279	276	218	216	214	212	44	43	43	43	22	22	22	22
		製品1個当り	kg/個	0.013	0.012	0.012	0.012	0.034	0.034	0.033	0.033	0.026	0.026	0.025	0.025	0.002	0.002	0.002	0.002
(3)排水量	①上水使用量	総量	t	2,398	2,374	2,350	2,326	917	908	899	889	869	860	852	843	612	606	600	594
		製品1個当り	kg/個	0.106	0.105	0.104	0.103	0.142	0.141	0.139	0.138	0.515	0.510	0.505	0.499	0.042	0.042	0.042	0.041
	②工業用水使用量	総量	t	10,096	9,995	9,894	9,793	10,096	9,995	9,894	9,793	0	0	0	0	0	0	0	0
		製品1個当り	kg/個	0.448	0.443	0.439	0.434	1.566	1.550	1.534	1.519	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
(4)化学物質の 使用量削減	①環境負荷物質の 適正管理	%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%	法規遵守 100%													
(5)グリーン購入の 推進	①グリーン製品 購入品目数拡大	品目数	グリーン製品 5品目	2014年度比 +10品目	2014年度比 +20品目	2014年度比 +30品目													
(6)製品に関する 項目	①製品不良の削減 (工程内不良低減)	%	工程内不良 率 0.048%	2014年度比 -0.005%	2014年度比 -0.010%	2014年度比 -0.015%													
	②製品不良の削減 (慢性不具合低減)																		

VI. 2015年度 環境活動計画

項目	取り組み項目	全社		本社・豊田工場		足助工場		篠原工場	
		主な活動内容	対応部署	主な活動内容	対応部署	主な活動内容	対応部署	主な活動内容	対応部署
(1)二酸化炭素排出量		1)購入電力低減 2)化石燃料の使用量低減	全部署 人総室	1)購入電力低減 2)化石燃料の使用量低減	全部署 人総室	1)購入電力低減 2)化石燃料の使用量低減	全部署 人総室	1)購入電力低減 2)化石燃料の使用量低減	全部署 人総室
	①購入電力使用量	1)電力監視システムによるピーク電力管理 2)パーテーション設置による冷暖房効率向上 3)組付けライン、成形機の生産性向上 4)夏季特別節電活動の実施	各部署 人総室 生技部 全部署	1)電力監視システムによるピーク電力管理 2)パーテーション設置による冷暖房効率向上 3)組付けライン、成形機の生産性向上 4)夏季特別節電活動の実施	各部署 人総室 生技部 全部署	1)電力監視システムによるピーク電力管理 2)パーテーション設置による冷暖房効率向上 3)組付けライン、成形機の生産性向上 4)夏季特別節電活動の実施	各部署 人総室 生技部 全部署	1)照明、PCの節電 2)製品加工方法の改善	全部署 生技部
	②灯油使用量	1)エアコン導入による灯油使用量削減	人総室・製造部	1)エアコン導入による灯油使用量削減	人総室・製造部	1)エアコン導入による灯油使用量削減	製造部	—	—
	③ガソリン使用量	1)アイドリングストップの啓蒙 2)低燃費社有車への入替	人総室・工務課 人総室	1)アイドリングストップの啓蒙 2)低燃費社有車への入替と積極的な活用	人総室・工務課 人総室・全部署	1)アイドリングストップの啓蒙 2)工場統合による社有車集約	人総室 ↑	1)アイドリングストップの啓蒙	人総室・工務課
	④LPG使用量	1)給湯器の集約	↑	1)給湯器の集約	↑	1)工場統合による使用量削減	↑	1)使用頻度の削減	製造部
(2)廃棄物排出量 (中間処理)	①産業廃棄物排出量	1)工程内不良低減活動の継続推進 2)表皮歩留りの向上 3)事務用品の再利用、紙資料の削減 4)廃棄物分別の継続推進	製造部 生技部 全部署 ↑	1)工程内不良低減活動の継続推進 2)表皮歩留りの向上 3)事務用品の再利用、紙資料の削減 4)廃棄物分別の継続推進	製造部 生技部 全部署 ↑	1)工程内不良低減活動の継続推進 2)表皮歩留りの向上 3)事務用品の再利用、紙資料の削減 4)廃棄物分別の継続推進	製造部 生技部 全部署 ↑	1)廃棄物分別の強化	製造部
(3)排水量	①上水使用量	1)老朽化対策(パッキン交換)	人総室	1)老朽化対策(パッキン交換) 2)漏水対策(配管の地上化)	人総室 ↑	1)工場統合による使用量削減 2)漏水対策(配管の地上化)	人総室	1)老朽化対策(パッキン交換) 2)漏水対策(配管の地上化)	人総室
	②工業用水使用量	1)老朽化対策(水漏れ対策) 2)使用用途の調査	人総室 ↑	1)漏水対策(配管の地上化) 2)多量使用源の特定と対策検討	人総室 ↑	—	—	—	—
(4)化学物質の使用量削減	①環境負荷物質の適正管理	開発9車種のSOC関連法規の遵守 (上期4車種)	技術部						
(5)グリーン購入の推進	①グリーン製品 購入品目数拡大	グリーン製品の優先的な購入 拡大可能な品目の検討	人総室・全部署 人総室						
(6)製品に関する項目	①製品不良の削減 (工程内不良低減)	①朝市、夕市活動の継続 ②1日1ライン点検による未然防止活動 ③監査改良会議、困り事対策会議 による慢性不具合撲滅活動	製造部・品証部 技術部・生技部						
	②製品不良の削減 (慢性不具合低減)								

VII. 2015年度 環境活動実績評価

1. 全社 実績評価

項目	取り組み項目	単位		削減目標				評価
				2014年度 実績 基準年度	2015年度 目標 (1%減)	2015年度 実績	目標達成率	
(1)二酸化炭素 排出量		総量	kg-CO2	1,878,608	1,859,822	1,906,383	98%	×
		製品1個当り	kg-CO2/個	0.083	0.082	0.069	119%	○
	①購入電力使用量	総量	kwh	3,295,880	3,262,921	3,406,394	96%	×
		製品1個当り	kwh/個	0.146	0.145	0.123	117%	○
	②灯油使用量	総量	L	39,506	39,111	31,797	123%	○
		製品1個当り	ml/個	1.752	1.734	1.152	151%	○
	③ガソリン使用量	総量	L	33,096	32,765	29,421	111%	○
		製品1個当り	ml/個	1.468	1.453	1.065	136%	○
	④LPG使用量	総量	kg	882	874	381	229%	○
		製品1個当り	g/個	0.039	0.039	0.014	281%	○
(2)廃棄物排出量	①産業廃棄物排出量	総量	t	284	282	301	94%	×
		製品1個当り	kg/個	0.013	0.012	0.011	115%	○
(3)排水量	①上水使用量	総量	t	2,398	2,374	2,280	104%	○
		製品1個当り	kg/個	0.106	0.105	0.083	128%	○
	②工業用水使用量	総量	t	10,096	9,995	8,220	122%	○
		製品1個当り	kg/個	0.448	0.443	0.298	149%	○

⇒ 二酸化炭素排出量(購入電力)、廃棄物排出量が総量で目標未達

2. 本社・豊田工場 実績評価

項目	取り組み項目	単位		削減目標				評価
				2014年度 実績 基準年度	2015年度 目標 (1%減)	2015年度 実績	目標達成率	
(1)二酸化炭素 排出量		総量	kg-CO2	1,425,097	1,410,846	1,425,096	99%	×
		製品1個当り	kg-CO2/個	0.221	0.219	0.222	98%	×
	①購入電力使用量	総量	kwh	2,510,880	2,485,771	2,549,016	98%	×
		製品1個当り	kwh/個	0.389	0.385	0.398	97%	×
	②灯油使用量	総量	L	25,766	25,508	18,929	135%	○
		製品1個当り	ml/個	3.995	3.955	2.953	134%	○
	③ガソリン使用量	総量	L	30,091	29,791	26,853	111%	○
		製品1個当り	ml/個	4.666	4.620	4.189	110%	○
	④LPG使用量	総量	kg	125	123	97	127%	○
		製品1個当り	g/個	0.019	0.019	0.015	127%	○
(2)廃棄物排出量	①産業廃棄物排出量	総量	t	218	216	234	92%	×
		製品1個当り	kg/個	0.034	0.034	0.037	92%	×
(3)排水量	①上水使用量	総量	t	917	908	906	100%	○
		製品1個当り	kg/個	0.142	0.141	0.141	100%	○
	②工業用水使用量	総量	t	10,096	9,995	8,220	122%	○
		製品1個当り	kg/個	1.566	1.550	1.282	121%	○

⇒二酸化炭素(購入電力)排出量、廃棄物排出量の総量と個当りはともに目標未達

3. 足助工場 実績評価

項目	取り組み項目	単位		削減目標				評価
				2014年度 実績 基準年度	2015年度 目標 (1%減)	2015年度 実績	目標達成率	
(1)二酸化炭素 排出量		総量	kg-CO2	214,991	212,841	222,430	97%	×
		製品1個当り	kg-CO2/個	0.127	0.126	0.167	76%	×
	①購入電力使用量	総量	kwh	342,686	339,259	363,651	97%	×
		製品1個当り	kwh/個	0.203	0.201	0.273	76%	×
	②灯油使用量	総量	L	13,740	13,603	12,868	123%	○
		製品1個当り	ml/個	8.141	8.060	9.660	97%	×
	③ガソリン使用量	総量	L	1,634	1,618	1,120	110%	○
		製品1個当り	ml/個	0.968	0.959	0.841	87%	×
	④LPG使用量	総量	kg	44	43	40	230%	○
		製品1個当り	g/個	0.026	0.026	0.030	181%	○
(2)廃棄物排出量	①産業廃棄物排出量	総量	t	44	43	47	97%	×
		製品1個当り	kg/個	0.026	0.026	0.035	76%	×
(3)排水量	①上水使用量	総量	t	869	860	852	104%	○
		製品1個当り	kg/個	0.515	0.510	0.640	82%	×
	②工業用水使用量	総量	t	0	0	0	—	—
		製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	0.000	—	—

⇒ 多くの項目で目標未達 要因解析実施

4. 篠原工場 実績評価

項目	取り組み項目	単位		削減目標				評価
				2014年度 実績 基準年度	2015年度 目標 (1%減)	2015年度 実績	目標達成率	
(1)二酸化炭素 排出量		総量	kg-CO2	233,560	231,224	258,857	89%	×
		製品1個当り	kg-CO2/個	0.016	0.016	0.013	123%	○
	①購入電力使用量	総量	kwh	442,314	437,891	493,727	89%	×
		製品1個当り	kwh/個	0.031	0.030	0.025	122%	○
	②灯油使用量	総量	L	0	0	0	—	—
		製品1個当り	ml/個	0.000	0.000	0.000	—	—
	③ガソリン使用量	総量	L	1,371	1,357	1,448	94%	×
		製品1個当り	ml/個	0.095	0.094	0.073	129%	○
	④LPG使用量	総量	kg	714	707	244	289%	○
		製品1個当り	g/個	0.050	0.049	0.012	399%	○
(2)廃棄物排出量	①産業廃棄物排出量	総量	t	22	22	20	112%	○
		製品1個当り	kg/個	0.002	0.002	0.001	154%	○
(3)排水量	①上水使用量	総量	t	612	606	522	116%	○
		製品1個当り	kg/個	0.042	0.042	0.026	160%	○
	②工業用水使用量	総量	t	0	0	0	—	—
		製品1個当り	kg/個	0.000	0.000	0.000	—	—

⇒ 二酸化炭素排出量(購入電力・ガソリン)の総量で目標未達

5. その他 実績評価

項目	取り組み項目	単位	削減目標				評価
			2014年度 実績 基準年度	2015年度 目標	2015年度 実績	目標達成率	
(1)化学物質の 使用量削減	①化学物質の 適正管理	%	法規遵守 100%	開発9車種 100%	立上り9車種 100%	100%	○
(2)グリーン購入の 推進	①グリーン製品 購入品目数拡大	品目数	5	15	24	160%	○
(3)製品に関する 項目	①製品不良の 削減	%	0.048%	0.043%	0.058%	83%	×

工程内不良低減活動

朝市・夕市活動(毎日開催)



客先流出、出荷検査、工程内での発生不具合を当日の夕市で共有し、翌日の朝市で対策報告して、再発防止に努めています

環境美化活動

10月24日実施(職制会)



会社周辺のゴミ拾いと雑草の刈り取りを行いました



VIII. 環境関連法規等の遵守状況の確認

No.	環境関連法令等	内容	対象施設等	記録帳票	実施状況	実施日/確認日	評価	
1	環境基本法	事業活動に伴う公害防止及び産廃物の適正管理、再資源利用、自然環境保全、環境負荷低減など行政への協力	全社	No.2以下の各法規	No.2以下の各法規遵守	2016年3月22日	○	
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	(1)収集運搬・処分までの保管	・生活環境の保全上支障のない保管	リサイクルステーション	—	都度	2016年2月12日	○
		(2)産廃の保管基準	・周囲の囲い	リサイクルステーション	—	—	2016年2月12日	○
			・掲示板を設け必要事項の記載	リサイクルステーション	—	—	2016年2月12日	○
			・不浸透性材料での覆い	リサイクルステーション	—	—	2016年2月12日	○
		(3)収集運搬及び処理の委託基準処分に係る委託基準	・委託契約書の締結	—	委託契約書	—	2016年2月12日	○
		(4)マニフェスト制度	・許可証の写し等の確認	—	許可証	—	2016年2月12日	○
			・委託契約書の終了後、5年間保存	—	委託契約書	—	2016年2月12日	○
			・排出事業者はマニフェストを交付し、最終処分までを確認	—	マニフェスト	都度	2016年2月12日	○
			・マニフェスト交付状況報告(6月末)	—	報告書	1回/年	2015年6月30日	○
		(5)委託先実地確認	・委託先の現地確認(年1回)但し、優良認定業者は不要	—	—	1回/年	2016年2月12日	優良認定業者につき未実施
3	家電リサイクル法	・管理票(家電リサイクル券)の写しの受領	—	管理票	都度	該当なし	○	
4	自動車リサイクル法	・リサイクル費用の負担と登録引取業者への引き渡し	車両	—	都度	該当なし	○	
5	県民の生活環境の保全等に関する条例(アイドリングストップ)	・駐車時のアイドリングストップ周知	車両	—	—	2016年2月12日	○	
6	騒音規制法	・敷地境界線測定 ・特定施設導入時30日前届出	機械プレスコンプレッサー等	届出書 計量証明書	測定:1回/年 届出:導入時	2015年6月3日	○	
7	振動規制法	・敷地境界線測定 ・特定施設導入時30日前届出	機械プレスコンプレッサー等	届出書 計量証明書	測定:1回/年 届出:導入時	2015年6月3日	○	
8	フロン排出抑制法	・修理、廃棄時の登録業者委託 引取り証明書の3年間保管 ・フロンガス漏れ点検	エアコン等	引取り証明書 点検表	都度 簡易点検: 1回/3ヵ月	簡易点検実施 1回/3ヵ月	○	
9	容器包装リサイクル法	消費者:分別排出 市町村:分別収集 事業者:再商品化義務、帳簿の記載5年間保管	—	届出書	1回/年	2016年3月22日	○	
10	PCB特措法	・法律の保管基準に従った適正保管、保管状況等の届け出(毎年) ・平成39年3月までの適正処理	—	届出書	1回/年	保管なし	○	
11	浄化槽法	・保守点検の実施 ・年一回の法定検査の実施	浄化槽 (篠原対象外)	保守点検記録	【本社・豊田工場】			
					保守:1回/2ヶ月 法定:1回/年	保守・清掃実施 1回/2ヶ月 法定点検実施 15年11月5日	○ ○	
					【足助工場】			
					保守:1回/2ヶ月 法定:1回/年	保守・清掃実施 1回/2ヶ月 法定点検実施 15年6月11日	○ ○	
12	グリーン購入法	・一般的責務として努力する	全社	グリーン購入ガイドライン	—	2016年2月29日	○	
13	消防法	・指定可燃物及び危険物の指定数量管理等	屋内貯蔵所	点検・保管量 チェック表	1回/月	点検・保管量確認 1回/月	○	
14	水質汚濁防止法	・有害物質、油等の流出事故時は市へ届出(公共用水域、下水道流出、地下浸透時)	屋内貯蔵所等	—	都度	流出事故発生なし	○	
15	その他の要求事項	・協力会社のグリーン調達ガイドライン	—	環境方針	都度	2016年3月1日	○	

⇒ 環境関連法規について、現在違反はありません。
過去3年間、環境に関する苦情、違反、訴訟等の指摘はありません。

※遵守評価は年度末に実施

Ⅸ. 2015年度 環境活動まとめ

1. 二酸化炭素排出量低減（総量：目標未達 / 個当り：目標達成）

1)生産設備の増加や職場環境改善や化石燃料低減を目的としたエアコンの増台により、購入電力の総量が増加

- ①購入電力の低減を軸に二酸化炭素排出量低減活動を継続
- ②基準量の見直しにより、実態に即した基準値の見直し検討

2)化石燃料は使用量低減を実現

	2014年度	2015年度	前年度比	
二酸化炭素 kg	1,878,608	1,888,705	100.5%	
購入電力 kWh	3,295,880	3,370,444	102.3%	
化石燃料	灯油 L	39,506	31,797	80.5%
	ガソリン L	33,096	29,797	90.0%
	LPG kg	882	380	43.1%

2. 廃棄物排出量低減（総量：目標未達 / 個当り：目標達成）

占有率の高いものが前年度比で大幅に増加（PPシェル本体・PVC）

- ①開発車種の歩留り向上活動の継続推進
- ②工程内不良低減活動の強化（下記）
- ③慢性不具合撲滅活動の強化

	2014年度	2015年度	前年度比	単位：kg
PVC	57,120	63,175	110.6%	
離型紙	7,337	6,564	89.5%	
PP(シェル本体)	7,177	12,832	178.8%	
PP(シェル以外)	6,319	4,333	68.6%	
ABS	3,757	2,769	73.7%	
POM	395	53	13.4%	
合計	82,105	89,726	109.3%	

3. 排水量低減（総量：目標達成 / 個当り：目標達成）

上水、工業用水ともに低減

→ 占有率の高い工業用水の更なる低減を検討

	2014年度	2015年度	前年度比	単位：kg
上水	2,398	2,349	98.0%	
工業用水	10,096	8,220	81.4%	

4. その他

(1)化学物質低減（目標達成）

開発車種(9車種)の化学物質管理と環境法規遵守の達成

- ①2016年度開発車種(9車種)の化学物質管理、環境法規遵守
- ②環境負荷物質管理体制の強化

(2)グリーン購入（目標達成）

2014年度比で目標を上回る品目の拡大(目標15品目→実績24品目)を実現

→ 2016年度も目標の達成を目指し、更なる品目の検討を実施

(3)工程内不良低減：(目標未達)

工程内不良率が70期比で悪化(0.024% → 0.030%)

→ 現在の朝市・夕市活動での再発防止活動に加え、全ラインを対象に未然防止活動を実施

X. 代表者による全体評価と2016年度に向けた活動の見直し

1. 環境方針・目標達成状況

2015年度は環境目標に対し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量はともに個当りでは低減できており、活動の成果がみられるものの総量では目標未達となり、改善が必要

2014年度当時と比較すると購入電力の環境は変化しており、2016年度上期の結果を踏まえ、基準値の見直しを検討のこと

2016年度は特定できた重点課題をより深く解析する事で、課題を具体的にし、的確な対策を実施し、環境活動の更なるレベルアップすること

2. 環境活動計画実施状況

2015年度は各部門長中心となり各部門の積極的な取組みにより、ほぼ計画通り活動する事ができている

2016年度は環境活動の活性化および全社活動として推進していく為、環境に特化した委員会を設置し、活動のレベルアップすること

3. 環境関連法規遵守状況

環境に関連する法規対応は遵守できているが、今後とも法規動向に注意を払い、積極的に対応していくこと

4. 2016年度に向けて、環境マネジメントシステム見直しの必要性の有無

- (1)環境方針 : 見直し要
- (2)環境目標 : 変更なし
- (3)環境活動計画 : 更なるレベルアップ
- (4)環境経営体制 : 見直し要 委員会の設置

評価年月日 2016年3月25日

共和産業株式会社

代表者 森下 勇夫

環境管理責任者 廣瀬 誠